

JAPAN WHL
第14回女子日本アイスホッケーリーグ(2025-26 SMILE JAPAN LEAGUE)

《 開 催 要 項 》

- 1 目 的 オリンピックや国際大会などの世界レベルでの大会で活躍する将来性を有する選手の発掘育成を目的とする。また、リーグを通じて各地域の女子アイスホッケーレベルの底上げと選手が目指すステージを創造する。
- 2 大 会 名 第14回女子日本アイスホッケーリーグ
(愛称) 2025-26 SMILE JAPAN LEAGUE
- 3 主 催 公益財団法人日本アイスホッケー連盟
- 4 主 管 一般財団法人北海道アイスホッケー連盟
- 5 競技主管 釧路アイスホッケー連盟・苫小牧アイスホッケー連盟・帯広アイスホッケー連盟
- 6 後 援 北海道 公益財団法人北海道スポーツ協会 釧路市 苫小牧市 帯広市
(予定) 釧路市スポーツ協会 公益財団法人苫小牧スポーツ協会 帯広市スポーツ協会
一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団
- 7 開催期日 第1次リーグ 2025年(令和7年) 9月20日(土)～22日(月)
第2次リーグ 2025年(令和7年) 10月11日(土)～13日(月祝)
ファイナルリーグ 2025年(令和7年) 11月22日(土)～24日(月祝)
- 8 開催場所
第1次リーグ
ユタカアイスアリーナ(しろ
北海道釧路市鳥取大通3丁目6-33 TEL.0154-54-2345
KKS 釧路厚生社アイスアリーナ
北海道釧路市柳町1-1 TEL.0154-22-3876
第2次リーグ
苫小牧市 nepia アイスアリーナ(NTC アイスホッケー競技別強化拠点施設)
北海道苫小牧市若草町2丁目4-1 TEL.0144-37-7100
ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ
北海道苫小牧市北栄町3丁目2番3号 TEL.0144-57-7240
ファイナルリーグ
帯広の森アイスアリーナ・帯広の森スポーツセンター
北海道帯広市南町南7線56番地7(帯広の森運動公園内) TEL.0155-48-6256
- 9 参加制限 北海道8チーム、本州2チーム、U18全国選抜1チーム、中学選抜1チームの12チームとする。
- 10 参加資格
(1)令和7年度(公財)日本アイスホッケー連盟(以下、日ア連といいます)に登録されているチームの役員、選手とする。
(2)出場選手は中学生以上とし、高校生以下の選手について各チームで学校長及び保護者の承諾を得ること。
(3)外国籍の選手は申込締切日までに(公財)日本アイスホッケー連盟に登録した3名以内とする。
(4)今大会において、選手および役員の2チーム以上の登録は認めない。(中学選抜チームに推薦される選手は除く)
- 11 中学選抜チーム結成について
(1)中学生の強化はスマイルジャパンにとっても喫緊の課題で、中学選抜を1チーム結成しスマイルリーグに出場させ、試合の経験を積むことを目的とする。
(2)参加チームの中で、試合に出場できない中学生を集め、チーム編成をする。
・ベンチ入り人数(22人)外はもちろん、ベンチ入りしているが試合出場の機会が極端に少ない選手も対象と

する。

(3)大会申込時に参加チームが選手を(一財)北海道アイスホッケー連盟あて推薦する。

(4)人数は22名(GK2名含む)以内とし、希望人数が22名を超えた場合は、①～③の方法で選抜する。

① GK希望者が3名以上になった場合は、希望チームに3名以上のGKのいるチームを優先し、担当スタッフが出場順を各リーグに割り振る。

② GK以外の選手は次の計算式で調整する。(小数点以下第1位を四捨五入)

チームの希望人数÷希望総人数×エントリー人数(20名)=チーム参加人数

③ 四捨五入で過不足が出た場合は、登録メンバーの多いチームを優先し調整する。

(5)チーム内で参加できない選手が出たチームは、各リーグで選手を入れ替えても良い。その場合は、(一財)北海道アイスホッケー連盟あて、2週間前までに報告すること。

(6)参加チームが怪我等で人数が少なくなった場合には、途中でも競技主管連盟に報告の上、登録チームに戻れることとする。また、サブGKとして登録チームのメンバー表に入れることを認める。

(7)チームスタッフは日ア連強化スタッフが責任を持って、試合等の指導にあたる。

(8)選手の移動等については、参加チームが責任を持って行う。

(9)中学選抜に該当する選手は保険料を支払う。

(10)中学選抜チームとしての参加費は無料とする。

12 U18 全国選抜チームについて

(1)全国より18歳以下の中学生・高校生の選手(所属チームが本大会に出場している選手を除く)を集め、試合経験を増やし、強化を図る。

(2)選手選考は日ア連強化スタッフが当たり、チームを結成する。

(3)試合、宿泊・移動等、日ア連強化スタッフが責任を持って計画準備指導にあたる。

(4)チームの最終責任者は、U18代表監督が当たる。

13 競技方法(別紙 組み合わせ表 参照)・試合時間

(1)第1次リーグは、昨年度の成績をもとに、A・B・Cの3プールに分け、リーグ戦を行う。ただし、当面の間Aプールは、4チームを固定して、入れ替えなしで1・2次リーグを行う。U18全国選抜はCプールの3位、中学選抜チームはCプールの4位とする。

(2)第2次リーグのB・Cプールは、第1次リーグの成績をもとに上位下位の1チームずつを入れ替え、B・Cの2プールに分け、リーグ戦を行う。

Aプールは、第1次リーグと同一の4チームで編成する。

Bプールは、Bプール1～3位、Cプール1位で編成する。

Cプールは、第1次リーグBプール4位及びCプール2位～4位で編成する。

(3)ファイナルトーナメントは、Aプールについては1次2次の合計成績をもとに、1位～4位にシードする。B・Cプールについては、第2次リーグの成績をもとに上位下位の1チームずつを入れ替えシードし、決勝トーナメント戦並びに順位決定戦を行う。

※ 組み合わせ表を参照のこと。

(4)競技時間は各ピリオド正味20分、インターバル10分とする。

(5)10点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ後のゲームタイムはランニングタイムとする。

① 点差が縮まった場合でも継続する。

② 次の場合は時計を止めるものとする。

ア) 得点時一旦止めるが、レフェリーがオフィシャルに報告にきた時点で、直ちにスタートする。

イ) 反則発生時一旦止める。次のフェイスオフでスタートさせる。

ウ) 選手が負傷し交代に時間を要する場合やチームからの質問などで時間を要する場合などレフェリーの指示で時計を止める。次のフェイスオフでスタートさせる。

③ 反則時間終了時にプレーが止まっていたら、その選手は次のフェイスオフでバックがドロップされるまでペナルティーベンチから出られない。

(6) 第1次リーグ及び第2次リーグの場合、第3ピリオド終了時点で同点の場合は、ただちにIIHF国際競技規則に基づくペナルティショット・シュートアウト(PSS)を行う。ファイナルトーナメントの場合、第3ピリオド終了時点で同点の場合は、3分間休憩後に「3on3方式」による5分間のサドンデス方式の延長ピリオドを行う。なお、延長ピリオドで得点がなかった場合は、IIHF国際競技規則に基づくペナルティショット・シュートアウト

(PSS)をただちに行う。(製氷なし)

14 競技規則

- (1)IIHF国際競技規則に基づくが、一部ローカルルールを採用する。
- (2)何らかの理由により、各リーグに出場できない事態が起きた場合は、出場予定のプールの最下位として扱う。
- (3)リーグ戦の順位決定方法は勝点制とし、同勝点の場合は下記の基準により順位を決定する。
 - ①2 チームが同点の場合は、当該チーム同士の勝者が上位となる。
 - ②3 チーム以上が同点の場合は、当該チーム同士の⑦得失点差⑧合計得点で決める。
 - ③以上の手順を取っても同点の場合、前年のシーディングナンバーに基づき順位づけをする。
- (4)直接的ボディチェックは禁止する。
- (5)ヘルメットにはフルフェイスマスク(顎が完全に隠れているもの)及び イヤーガードを装着し、必ずネックプロテクターを着用すること。
- (6)マウスガード(のぞましくはカスタムメード)は無色透明・肌色・白色以外のものを着用すること。
- (7)原則として頭髮はヘルメットの中に納めること。
- (8)ユニフォームは完全にパンツの外側に着用し、タイダウンストラップで常にパンツに適切に固定すること。
- (9)各チームのプレーヤーは全員同じユニフォーム、パンツ、ストッキング及びヘルメットを着用するものとする。
- (10)試合でのサスペンションはゲームスーパーバイザー、レフェリースーパーバイザーで協議を行い、結果を両チーム代表者に告知すると同時に、状況と裁定を公益財団法人日本アイスホッケー連盟審議委員会に報告する。審議委員会は報告を受け、必要に応じ追加処分を下すことができる。
- (11)サスペンションは必要に応じ、主催団体にかかわらず選手がプレーするリーグ、大会に反映し、次年度に持ち越すこともある。
- (12)脳震盪の疑いが持たれた選手は、その試合出場できない。
- (13)不測の事態が生じた場合には、(公財)日本アイスホッケー連盟、(一財)北海道アイスホッケー連盟の関係機関と相談し、対応する。

15 申し込み

- (1)日ア連 FaceOff システムの大会申込みフォームにログインし、オンラインにて申し込むこと。
ログインの大会 ID とパスワードは、日ア連に照会すること。
- (2)大会申込みフォーム入力後、プリントアウトし、所属加盟団体を通じ、日ア連へ郵送すること。
○主催 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2 Japan Sports Olympic Square 602
(公財)日本アイスホッケー連盟宛
- (3)同時に、以下の 4 点を道ア連へ電子メールにて送信すること。
 - ①Excel 形式の申込フォームを日ア連ホームページよりダウンロードし、必要事項を入力したファイルデータ
 - ②チームのホーム用およびビジター用ユニフォームの JPEG 形式の写真
※参加チームは必ずホーム用およびビジター用ユニフォームの2着を用意すること。
 - ③記入要領に従い作成した、プログラム掲載データ
 - ④傷害保険等のコピー(PDF データ)
○主管 〒062-0905 北海道札幌市豊平区豊平 5 条 11 丁目 1-1 北海道立総合体育センター内
(一財)北海道アイスホッケー連盟宛
- (4)大会申込 URL、問合せ・データ送付先
 - FaceOff システム大会申込 <https://www.jihf.or.jp/meet/entry/>
 - 日ア連 TEL:03-5843-0375 FAX:03-5843-0376 E-MAIL:jihf@jihf.or.jp HP:jihf.or.jp
 - 道ア連 TEL:011-788-2811 FAX:011-788-2812 E-MAIL:hihf@star.ocn.ne.jp HP:hihf.jp/

16 締切日 令和 7 年 8 月 2 日(土) 期日厳守のこと。

17 役員・出場選手

- (1)チームのベンチ入り選手は 22 名以内(GK 含む)、役員は 6 名以内(最低 1 名)とする。
- (2)最低選手数は設けないが、氷上に必要な選手が出せなくなった時点で、没収試合とする。役員 1 名が揃わない場合は棄権とする。
- (3)大会に参加する選手は、HP に①選手名②性別③生年月日④国籍⑤ポジション⑥出場試合数⑦得点⑧アシスト⑨ペナルティー⑩GK データー⑪試合映像等の個人選手情報が掲載されることを了承のうえ参加すること。

18 大会経費

大会経費はスポーツ振興(じ)助成金(申請中)と参加費で賄う。

19 参加費について

(1)参加費1チーム 240,000 円を、申込みと同時に下記の大会専用口座に納金すること。

(2)振込先

三菱 UFJ 銀行 渋谷支店 普通預金

口座番号 3189495

ザイ)ニッポンアイスホッケーレンメイ

20 棄権による罰則

(1)申込締切り後、棄権を申し出るチームは、(一財)北海道アイスホッケー連盟(主管連盟)にその理由を添えて通知すると同時に不参加料240,000円を大会専用口座に納金すること。

(2)事前の棄権通知を怠り、且つ、不参加料を納金しないチームは、いずれの場合も今後の(公財)日本アイスホッケー連盟の主催する公式試合の参加を認めない。

この出場停止期間は(公財)日本アイスホッケー連盟において別に審議決定する。

21 監督会議および開会式

(1)日 時 2025 年(令和 7 年)9 月 19 日(金) 18:00～

(2)場 所 釧路プリンスホテル会議室

北海道釧路市幸町 7-1 TEL:0154-31-1111

(3)出席者 各チームの代表者および選手 1 名が参加すること。

(4)その他 監督会議および開会式に不参加(出席者不足を含む)及び遅刻した場合は、原則として 19 項同様の罰則を適用する。

(5)2次リーグ、ファイナルリーグにおいては、監督会議を行わない。尚、監督会議後に連絡が必要な場合は、書面等で通知する。

22 表彰

(1)ファイナルリーグの優勝、準優勝、三位チームを表彰する。

(2)試合ごと優秀選手 1 名の表彰を行う。

23 ベンチ

(1)対戦表の左側チームは、オフィシャルボックスに向かって右側のベンチに入る。

(2)リーグ戦でのホームチームおよびビジターチームは、対戦表による。

(3)ユニフォームは、ホームチームが濃色、ビジターチームが淡色とする。

24 公式練習

公式練習は行わない。

25 保険の加入

選手・役員等の移動を含む本大会に係る事故、負傷、盗難等について、本連盟は一切の責任を負わないので、各チームが責任を持って予め対処しておくこと。

尚、大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険等に参加し、そのコピーを参加申込と同時に主管連盟あてに提出すること。